



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 平成26年03月17日 第656号「週刊五十嵐レポート」

倒産から学ぶ「やってはいけないこと」

孫子は將軍の条件に、智、信、仁、勇、嚴の5つが必要とされています。智は先を見通し、戦略を駆使できること。勇は実行力があること。

また孫子は、上記5つについてバランスが大切だとも言っています。勇のありすぎる人は、必死になり過ぎて討ち死にしてしまう。智のありすぎる人は、自分の安全を考えてしまい、捕虜になってしまう。

私は日刊帝国ニュースを愛読しています。日々の倒産事件が掲載されており、潰れる会社を研究し、潰れない会社作りのヒントにしています。

ふっと見ていると知っている会社と社長が掲載されていました。「まさか」と思い、関係者に電話してみると、破産したことは事実でした。

2年ほど前は堅実に経営されていたと聞いていました。なぜ破産に至ったのか。1年ほど前に新店舗の出店を検討していました。金融機関に相談すると首を縦に振りませんでした。融資を受けることができなくなりました。

ここで経営者は、既存店舗の運転資金で新店舗の設備投資35百万円を充てることを考え、出店を決断しました。同社は特に内部留保が潤沢にあるわけではありません。設備投資は長期で回収していきます。調達は長期資金(長期借入金もしくは自己資金)になります。それを短期の運転資金で賄えば、資金繰りが厳しくなるのは必定。さらに新店舗は計画通りに売上が上がりませんでした。資金繰りはさらに逼迫。支払いの決済ができず、万事休すとなり破産を申し立てたとのこと。

「やってはいけないことをやってしまった」。残念です。

冷静に、客観視すればわかること。当事者になると見えなくなる事があります。新店舗の場所が魅力的だったのか、競争相手との関係もあったのか、わかりません。孫子の將軍の条件で1番先に登場するのは「智」、「勇」は4番目。「智」が「勇」より優先します。冷静に自社を判断する力が必要ということです。

ちょっと
気になる出来事

3月16日(日)、「町コン経営塾」にはじめての経営者が来られました。江戸川区在住の税理士から顧問先である中小企業経営者の紹介がありました。いろいろ悩まれているので町コン経営塾に参加されて何かヒントでも得られればということでした。

経営者曰く、「他の経営者は上手くいっているのかと思っていました。今は業績が良くても、過去は厳しい環境を乗り越えてきた話を聞くと何かほっとしました。自分だけではない。まだまだ勉強が足りない」

1人でいると煮詰まってしまう。

前向きな経営者の話を聞くと違った視点が見られ、気づき・発見が生まれます。

「町コン経営塾」は丸6年。前向きな中小企業経営者にとって「気楽に真面目な話ができる『場』」を提供しようと意識しています。本当に東京の下町から元気を発信していきます。



一口メモ
知識

戦略計画

戦略計画とは、組織の目標・能力と、変化しつつある市場機会との間に戦略的適合を築き、維持するという経営プロセスである。戦略計画は、企業の明確な使命や目標、健全な事業ポートフォリオ、調整のとれた各機能レベルでの戦略に依存している。

経営者は、どのような事業ポートフォリオや製品ポートフォリオが会社にとって最適であるか、そして、おのおのの事業、製品にどの程度力を入れるべきかについて決定する。

各事業や製品担当部門において、全社計画を達成するための詳細なマーケティング計画や他の機能ごとの計画を作成しなければならない。

フィリップ・コトラー、ゲイリー・アームストロング「新版 マーケティング原理」より

「新・経営の志手帳」発売中！(1,000円+税)

町コンランチエスター経営戦略塾 毎週日曜日 午前10時~12時。

町コン・ランチエスター経営戦略セミナー 毎月東京開催

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

